

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進委員の参加で住民代表が少ない。近隣住民が運営しているなごやかサロンや町内会代表、民生委員、老人クラブ、健康作り組織の代表などからの参加を期待したい。	運営推進委員会の参加者を増やす。	1、保育園が近隣にあり、敷地内の公園が園児の散歩コースになっていることから、初めに保育園の園長に声をかけていく。	6ヶ月
2	23	職員が把握した利用者の全体情報について、利用者の暮らしの希望や、思いも含めて記載様式を職員間で検討し、情報共有と支援に活かすこと期待したい。	利用者本人や家族の暮らしへの思いや希望を記録に落とし、職員間で情報共有をする。	1、利用者のフェイスシートに利用者本人、家族の暮らしへの思いや希望を記入する欄を作成する。 2、業務日誌に、訪問時に気づいた事や家族の希望を記入する欄を作成する。	1ヶ月
3	35	地域住民20数名が建物の一部で2回/週なごやかサロンを開催している。一緒に災害訓練を呼びかけ、地域との相互協力を期待したい。	アローなごみ建物内で開催されているなごやか広場の方と一緒に、災害訓練を行う。	令和2年度の災害訓練になごやか広場参加者の参加を依頼し、一緒に災害訓練を行う。	6ヶ月
4	49	事業所周圍は敷地も広く、環境にも恵まれている。車いすの利用者も多いので、職員の外出支援だけでなく、家族の協力やボランティアの活用も検討して、敷地内を散歩するなどの外出支援を増やすことを期待する。	利用者の外出支援を家族にも協力をしてもらい、外出の機会を増やす。	1、天候等を見ながら、日々の散歩を積極的に行う。 2、事業所便りを通じて、家族に地域の催し物への外出支援を依頼していくことで、利用者がゆっくりと外出できるようにする。	6ヶ月
5					ヶ月